

宇都宮市立豊郷中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問に対する肯定的回答の割合が80.4%で、全国の割合を10.9ポイント、県の平均を8.4ポイント上回った。

○「普段、1日当たりどれぐらいの時間、テレビゲームをしますか」「普段、1日当たりどれぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」の質問に対して2時間以上と回答した割合がそれぞれ40.7%、40.8%で、全国の割合をそれぞれ10.4ポイント、11.2ポイント、県の平均をそれぞれ5.8ポイント、7.2ポイント下回った。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対する肯定的回答の割合が98.4%で、全国の割合を2.0ポイント、県の平均を0.8ポイント上回った。

○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対する肯定的回答の割合が65.3%で、全国の割合を6.8ポイント、県の平均を0.3ポイント上回った。

○「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強しますか」の質問に対して2時間以上と回答した割合がそれぞれ39.2%、61.4%で、全国の割合をそれぞれ4.0ポイント、16.5ポイント、県の平均をそれぞれ3.1ポイント、8.4ポイント上回った。

○「読書は好きですか」の質問に対する肯定的回答の割合が74.5%で、全国の割合を6.3ポイント、県の平均を3.1ポイント上回った。

○「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか」の質問に対する肯定的回答の割合が62.5%で、全国の割合を7.5ポイント、県の平均を3.1ポイント上回った。

○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問に対する肯定的回答の割合が51.6%で、全国の割合を10.9ポイント、県の平均を5.6ポイント上回った。

○「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問に対して週3回以上と回答した割合が62.5%で、全国の割合を11.6ポイント、県の平均を13.0ポイント上回った。

●「毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか」の質問に対する肯定的回答の割合が70.0%で、全国の割合を9.2ポイント、県の平均を12.1ポイント下回った。普段から規則正しい生活を送ることができるようアドバイスしていくとともに、規則正しい生活を送ることの大切さについても伝えていくようにする。

●「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対する肯定的回答の割合が60.9%で、全国の割合を5.7ポイント、県の平均を9.6ポイント下回った。悩み事がある生徒に対する校内でのサポート体制を整えるとともに、生徒との信頼関係を築いていけるようにする。

●「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問に対する肯定的回答の割合が71.1%で、全国の割合を5.8ポイント、県の平均を9.1ポイント下回った。話し合い活動の中で、自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見をしっかりと聞く時間を設けることで、自分と異なる意見のよさについても考えられるように工夫する。

●「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の質問に対する肯定的回答の割合が67.4%で、県の平均を4.4ポイント下回った。総合的な学習の時間等のまとめる活動で、各教科での学びを生かせるように、各教科で学習した際に、教科の学習以外での生かし方にも触れるようにする。

宇都宮市立豊郷中学校（第3学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて次の目標達成を目指す。 ①言語活動を通し、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成。 ②学力向上を目指し家庭及び地域学校園と連携した「豊郷の豊かな学び」の実現。	・指導目標を明確にし、指導内容の充実 に努める。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向 けた授業改善に努める。 ・望ましい学習態度の育成に努める。 ・「グローバル社会」に対応する教育の推 進に努める。 ・各教科・領域、家庭・地域との連携に努 める。	「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向 けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の 質問項目について、肯定的回答が77.2%で、県の平均 を5.4ポイント、国の平均を2ポイント下回っている。 「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の 考えを深めたり、広げたりすることができていますか」 の質問項目について、肯定的回答が79.4%で、県の平 均を3.3ポイント、国の平均を0.7ポイント下回っている。 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなど のICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問項 目について、肯定的回答が62.5%で県の平均を13ポイ ント、国の平均を11.6ポイント上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「1、2年生のときに受けた授業は、自分 にあった教え方、教材、学習時間などに なっていましたか」という質問項目につい て70.1%と県の平均を9.8ポイント、国 の平均を5.2ポイント下回っている。ま た、上記の学校全体の重点的取組に関 する項目も下回っている。	・授業開始時の「学習課 題」の提示及び授業終末 時のまとめ・振り返りの工 夫。 ・興味・関心の喚起、言語 活動の充実から学力を向 上させるための授業の工 夫。	それぞれの授業において、その時間のゴールをつか めず、目標が達成できないまま取り組んでいたことも考 えられるため、生徒に合った分かりやすい言葉を用い て、ゴールを明確にしていく必要がある。 「学習した内容について、分かった点や、よく分からな かった点を見直し、次の学習につなげることができてい ますか」という質問項目については県、国の平均を上 回っていることから、分かりたいという意欲を次につな げるような授業を各教科で連携を図りながら工夫をして いく。